

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



エコアクション21
認証番号 0012327



第一鋼業株式会社

2025 年度 環境経営レポート

(対象期間：2024 年12月21日～ 2025 年12月20日)



導入した新型炉

発行日： 令和8年2月10日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価、取組結果の評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	13

□ごあいさつ

環境を考えることは企業の重要な責務です。有害物質を出さない事、リサイクルの輪を断ち切るような製品を出さない事、省資源の考え方などを基本に製品作りをすることが我々に課せられた使命と考えます。この考え方を基本にして製品作りをすすめるとともに環境にやさしい次世代の処理を探求しもの造りに専念いたします。

第一鋼業株式会社

代表取締役社長 妻藤 誠

環境経営方針

<環境経営理念>

第一鋼業株式会社は金属剪断刃物・機械部品の製造及び金属熱処理加工を行う工場としての事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた取り組みや様々な環境活動に全員参加で自主的・積極的に取り組むと同時に、環境経営の継続的改善を行います。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制とその削減につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤などの化学薬品の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した生産活動を進めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2017年7月16日

代表取締役社長 妻藤 誠

□組織の概要

更新日：2025年12月20日

- (1) 名称及び代表者名
 第一鋼業株式会社
 代表取締役社長 妻藤 誠
- (2) 所在地
 本 社 大阪市西成区南津守6-3-22
 本社工場 同 上
 九州工場 福岡県北九州市若松区南二島2丁目25番1号
 東京営業所 東京都大田区東六郷3丁目9番9号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 総務部 宇野 眞博 TEL:06-6651-8368
- (4) 事業内容
 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

(5) 事業の規模

売上高 124,352 万円 (2025年度)

	本社	九州工場	東京営業所	合計
従業員	64 名	9 名	3 名	76 名
延べ床面積	4,705 m ²	500 m ²	88 m ²	5,293 m ²

- (6) 事業年度 前年12月21日～12月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 第一鋼業株式会社
 対象事業所： 本社・工場、九州工場、東京営業所
 活動： 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

□事業や製品(商品)の紹介



ライナー

スライドウェイ

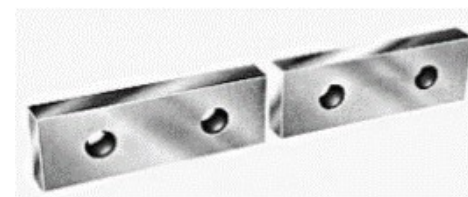
環境処理用粉碎刃



熱間用シャーナイフ

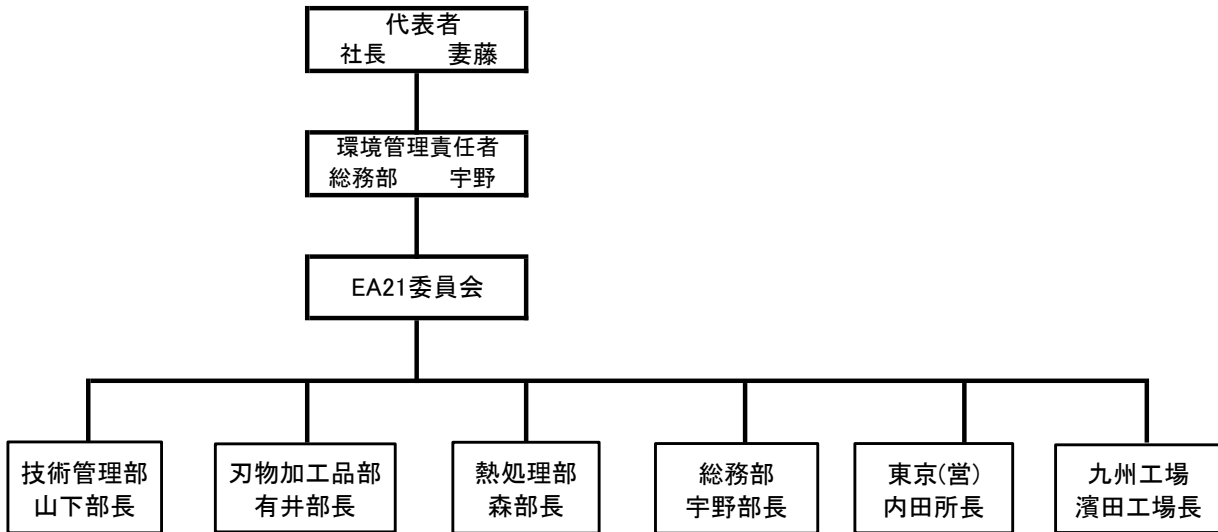


スクラップシャーナイフ



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2025年12月20日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	基準年	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量(1)	kg-CO ₂	2,647,586	2,964,637	2,688,788	2,576,958
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	15,721	7,069	7,462	8,273
産業廃棄物排出量(2)	kg	38,458	97,504	72,945	64,211
総排水量	m ³	5,954	5,776	5,535	5,000

二酸化炭素排出係数 0.419 kg-CO₂/kWh 関電2025年R7年(上記各年度とも)

(1)2025年灯油排出量: 2,078kg-CO₂を含みます

(2)2025年有価売却量: 42,580kgを含みます

※2025年原油換算: 1,465kL

□環境経営目標及びその実績

2025年度EA21環境目標 (※SDGs取組関連目標も含む)

2020~2022年平均値(基準値)比 2.0%削減

- (1)電力による二酸化炭素削減
 - (2)都市ガスによる二酸化炭素削減
 - (3)自動車燃料による二酸化炭素削減
 - (4)一般廃棄物の削減(コピー用紙)
 - (5)産業廃棄物の削減
 - (6)水道水の削減
 - (7)洗浄剤使用量削減
- 及び環境に配慮した生産活動(改善、安全衛生、5S、ISO9001、BCP)



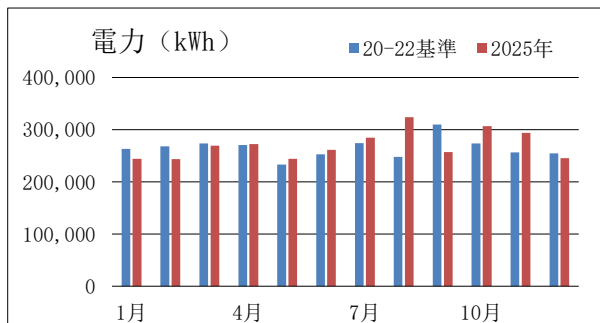
項目	年度	基準値	2025年		評価	2026年	2027年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,314,292	1,288,006	1,360,886	×	1,288,006	1,274,863
	基準年度比	20-22基準	98%	104%		98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,267,497	1,242,147	1,157,246	○	1,242,147	1,229,473
	基準年度比	20-22基準	98%	91%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	57,914	56,756	58,825	×	56,756	56,176
	基準年度比	20-22基準	98%	102%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	2,639,703	2,586,909	2,576,958	○	2,586,909	2,560,512
一般廃棄物の削減(コピー紙)	kg	883	865	684	○	865	856
	基準年度比	20-22基準	98%	77%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	21,628	21,195	21,631	×	21,195	20,979
	基準年度比	20-22基準	98%	100%		0.98	0.97
水使用量の削減	m ³	5,954	5,835	5,000	○	5,835	5,775
	基準年度比	20-22基準	98%	84%		98%	97%
洗浄剤使用量削減	kg	140	137	0	○	137	136
	基準年度比	20-22基準	98%	0%		98%	97%
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)					

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組み

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	今期、削減目標値を見直した結果は未達だった。刃物製造部門の残業時間は削減されたが当初の売上計画も大きく下がった。ワイヤーカット以外は夜間作業時。また工作機を並行稼働できるアイテムが少なかった。熱処理部門はソルトS-8更新や窒化炉増設による使用量増加が心配されたが電力デマンドは昨年に続き目標内に抑えられた。焼入れ炉の充填率・稼働率の監視を続け、各炉の分析を行う。
・空調温度の適正化(冷暖房28/20°C前後での適正)	○	
・機械、研削工場生産の効率化(残業時間計画比5%減少)	○	
・各エアコンフィルターの清掃点検(省エネ/パトロール時)	○	
・デマンドオーバー監視(740kwh以下)に抑える	○	
・バッテリーフォークリフトのメンテナンス(月次・半年・年次)	○	



取組紹介欄



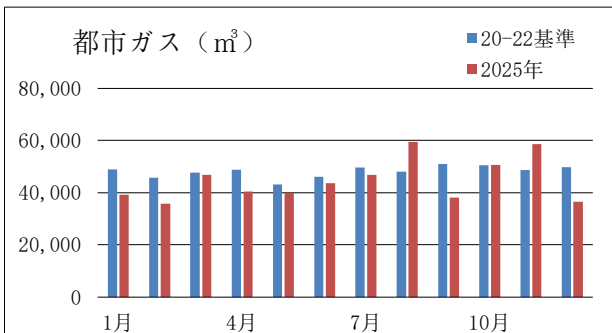
熱処理省エネチラー

次年度の取組内容

増設した窒化炉の受注量が活発になり本格稼働に入った場合、目標設定値が大幅にオーバーされることも予想される。引き続き使用量を監視し適切な目標設定値をみきわめたい、九州工場のデマンド監視装置を次年度は検討したい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	262,956	268,260	273,660	270,761	233,149	252,994	274,324	247,944	309,501	273,886	257,040	254,774
2025年	243,776	243,166	269,409	272,723	244,160	261,627	284,611	324,003	257,513	307,248	293,996	245,732

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	大型ガス熱処理炉の稼働が少なかったこともあり、省エネ法第2種特定事業者として原油換算値1500kLを下回っている。リジェネバーナは期待どおりの省エネ効果はあるものの生産量に影響をうけている。大きくは素材工場の入荷量に応じてガス量は増える見込みだがデマンド設定値を現状の210m3に変更しているが超えることはなかった。引き続きデマンド値を超えないように監視していきたい
・都市ガスデマンドによる管理(205m3以下)	○	
0	○	
・省エネ法に対応する管理基準の点検表運用	○	
・省エネ法定定期報告書、中長期計画書作成	○	



取組紹介欄



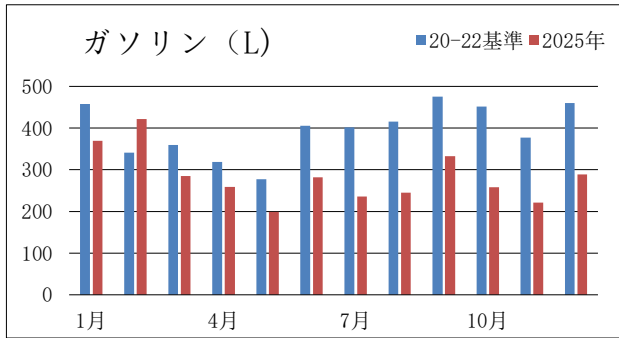
研削工場省エネGHP

次年度の取組内容

素材工場の入荷量に応じてガス量は増える見込みのため、ガスのデマンド設定値を現状から変更するが設定値を超えないように監視していきたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	48,885	45,709	47,638	48,747	43,218	46,040	49,677	48,083	50,937	50,556	48,684	49,762
2025年	39,264	35,676	46,791	40,416	39,998	43,638	46,828	59,376	38,037	50,629	58,592	36,517

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	全社を集計した結果、未達になった。リース満了時に低燃費車を検討し引き続き配送の効率化などを検討したい。アイドリングストップは取引先構内において当然のことで、社内でももっと注意して意識してもらえるよう啓蒙していく。生産管理など明確に目標値をきめてくれるものの遠方配送もあり未達だったのは残念だが全体的には好影響 急のつく運転、アイドリングストップなど安全運転はエコにつながるので基本的なことに気をつけたい。
・月別売上と運搬費の比率0.5以下を管理していく	△	
・アルコール検査、体調管理、法令順守、無事故、無違反	○	
・ガソリン、軽油の使用量を監視する東京営業所	○	
・アイドリングストップ推進(生産管理課、営業)	○	



取組紹介欄

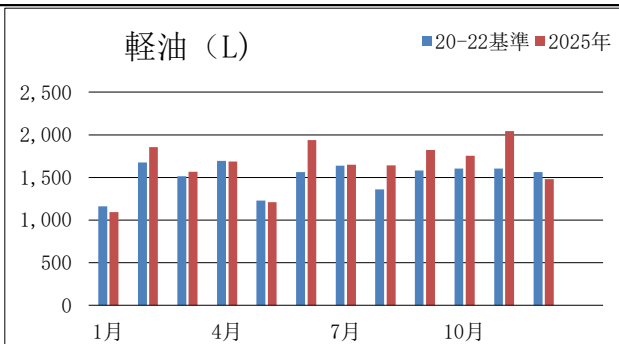


入れ替えたプリウス

次年度の取組内容

ガソリン営業車はリース満了時に低燃費車の検討とともに引き続き配送の効率化なども検討したい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	458	341	360	319	277	406	402	415	475	451	377	460
2025年	369	422	285	259	198	282	236	245	333	258	221	289



取組紹介欄



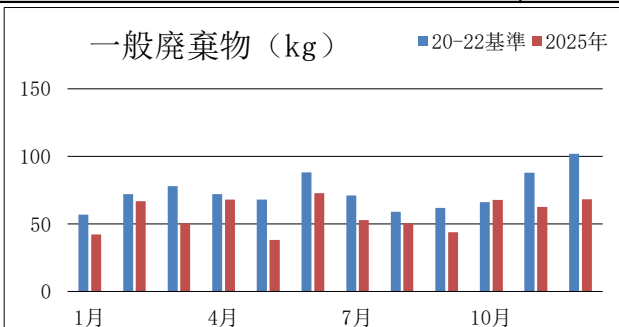
低燃費優先購入

次年度の取組内容

トラック利用のためディーゼル車は基本的なアイドリングストップや安全運転を引き続き心がけ省エネ化につなげたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	1,159	1,675	1,513	1,696	1,229	1,563	1,638	1,360	1,580	1,603	1,603	1,565
2025年	1,095	1,854	1,568	1,685	1,209	1,940	1,650	1,644	1,822	1,753	2,046	1,479

一般廃棄物の削減(コピー紙)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	コピー用紙の削減は基準値を見直してやや甘くなったのか結果は順調。印刷代と用紙コストからみても全体では12%以上の削減をしている点は環境新聞で各部コスト値を公開していることも好影響だったのかもかもしれない。まだまだ削減の余地はある。
・書類の簡素化(集約印刷、裏紙利用、PDF保管)	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・部門単位でのコピー代コスト金額を把握公表(新)	○	
・EA21会議資料の共有フォルダ化等によるコピー削減	○	



取組紹介欄



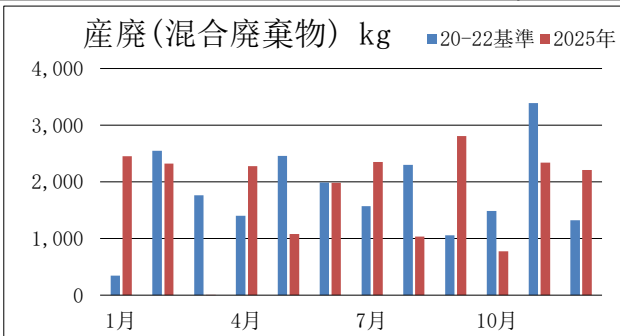
分別方法明示

次年度の取組内容

ごみの削減意識は徐々に浸透してはいるが、ごみの分別についてはとくに入社して間もない新人は守られていないことがあるので、そこを環境入社時教育での講習項目として対策していきたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	57	72	78	72	68	88	71	59	62	66	88	102
2025年	42	67	50	68	38	73	53	51	44	68	63	68

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	発生量のばらつきは収集運搬回数などにもよるが産廃はスポット的な受注量に左右されることから達成はむずかしい面はあるが、引き続き削減の意識、再利用可能な資源の分別をしていく。
・材料の歩留まり向上(材料会議)	○	
・加工ミスによるロスの低減確認(ISO9001品質会)	△	
・機械、研削工場タンク内清掃で水溶性廃液の削減	△	
・法定報告	◎	



取組紹介欄

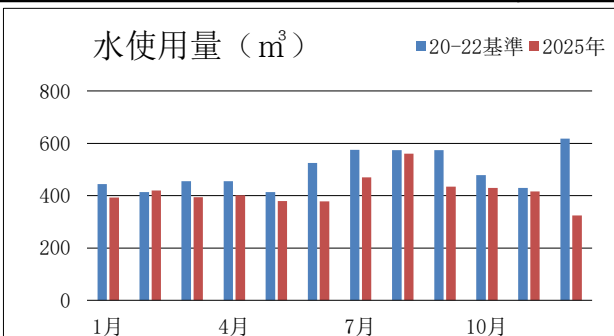


次年度の取組内容

産業廃棄物置場と事業系一般廃棄物置場の場所は異なり、明示もしているが種類を混在していることを見受けるので分別を適切におこなえるよう指導教育していきたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	349	2,547	1,763	1,403	2,456	1,989	1,569	2,298.267	1,056	1,486.600	3,389.167	1,319.867
2025年	2,450	2,323	3	2,276	1,080	1,986	2,352	1,034	2,810	773	2,335	2,210

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	基準年からすると達成できた。累計では削減効果があらわれているが本来の使用量として考えられるだけでもあり削減とまでは考えにくい
・節水シールの貼り付けと意識づけ掲示を継続	○	
・機器メンテナンス～定期的な漏水箇所点検	△	



取組紹介欄



各漏水箇所修理

次年度の取組内容

数か所に水漏れが見つかった。定期的な水漏れをチェックをし、水道メータの確認を実施する。同時に機械関係の日常点検、老朽化部分に注意を払っていく。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	444	414	455	455	414	524	575	573	573	479	430	618
2025年	393	421	395	401	379	379	470	561	434	430	416	325

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	窒化炉を新規に増設予定の試運転中である。現状、化学品はメーカーの管理下にある。今後、自社による化学品の使用がやってくるので、環境保全・安全対策面から管理を準備していく。
・製造課使用薬剤、危険物の取り扱い教育の実施	○	
・試験室で使用する薬品管理(既存と新規購入時)	○	
・熱処理製造部購入の化学物質確認システムの運	○	

取組紹介欄

環境及びSDGs教育講習8/25



環境新聞発行 年一回

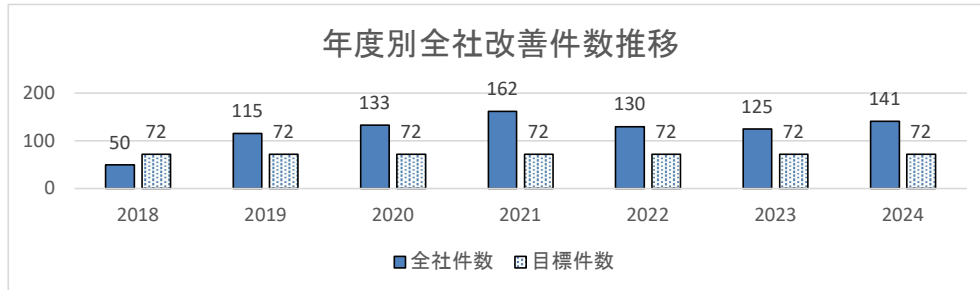


次年度の取組内容

環境影響がある化学品は今のところない。今後、新規に取り扱いが予定される化学品のSDSなどの整備・教育n度度の準備をしていく。

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価
・改善提案実施活動(改善事務局宇野)	112件	一人当たり最低1件の改善意識を目指した「カイゼン年度の目標 1人あたり最低1件の改善意識計72件」の目標については112件の改善があり件数は達成されている。全社員平均も1.57件、目標達成は1人複数件の提出が未提出をカバーしている。アドバイザーでもある管理職を除いて年1件を達成できていない人は計11名であり、昨年の9名より増加。改善内容についてはちょっとした簡単なことでも、合理的な工夫やそんな発想があったのかと感心してしまうような改善にも期待したい また新人も今後に期待、たまに簡単小さな工夫だが評価や報奨金に比例しなくても時々感心するようなセンスや上手く文面に書けない隠れた努力を感じる改善があったりする。
・全社5S活動の推進、クリーン作戦の継続実施	○	
・太陽光パネルの運用 発電量監視EA21委員会	○	
・SDGS教育(SDGs、男女共同、人権、健康メンタル)	○	
・環境新聞の発行・掲示(不定期)「環境改善いい」	○	
・各学校訪問へシェアサイクル利用による求人	○	
・第一鋼業エコバックの配布(東京営業所)	○	

取組紹介欄 カイゼン実施件数 経年



次年度の取組内容

改善実施活動は件数のみではなく創意工夫のある内容向上を意識しながら目標 提出1件/1人当りを継続して全員参加をめざす

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	契約書、適正な収集運搬、保管基準の遵守、適正な処分の確認、マニフェスト交付及び報告書、
騒音規制法	空調機・空圧機
振動規制法	走行クレーン
大気汚染防止法	排出基準の遵守、排出濃度の測定・記録の保管
省エネ法	第2種特定工場の届出、管理者の選任
温暖化対策推進法	対策計画、実績報告
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、定期点検の実施、点検記録の保存
PRTR法	指定化学物質の取扱量把握、SDSの受け取り
労働安全衛生法	SDS義務物質の把握
自動車Nox・PM法	適合する自動車の使用
消防法(危険物)	危険物の管理
PCB廃棄物特別措置法	対象品の届出保管
毒物及び劇物取締法	盗難及び漏えい防止

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されてされていました。
なお、その他については違反、訴訟等は過去3年間ありません。省エネ法に関連した管理基準の作成に対応します。




□緊急事態対応訓練 本社工場

緊急事態の想定: 火災消火と津波を想定した避難訓練		
■実施日: 令和7年10月13日	■実施場所: 会社内	
■参加者: 西成消防署4名 当日、本社に出勤者全員48名	■実施内容: ・通報訓練(事務所)、自衛消防訓練、避難訓練	
■評価:	手順書の変更の必要性 □あり ☑なし	
<p>(防火管理者)各自迅速に避難行動がとられ、一連の行動も確実に行われました。 (西成消防署)災害時の119通報については、より早く通報する為にスマホ(携帯)での通報を活用ください。また、続報(情報)があれば都度連絡いただいて結構です。避難訓練は敷地が大きい為、通路に誘導員を設置する素早く確実に避難することが出来ると思います。消火訓練(可搬式ポンプ)は落ち着いて適確な取り扱いが出来ており、上手いと感心しました。今後も災害に備えて訓練をお願いします</p>		
■実施状況の様子	本社	消防署員による初期消火の説明

□緊急事態対応訓練 東京営業所

緊急事態の想定: 初期消火方法及び避難訓練		
■実施日: 令和7年11月5日	■実施場所: 東京営業所	
■参加者: 東京営業所従業員全員(内田、杉山、関、大崎)		
<p>■実施内容: 東京営業所所員が全員在席 大田区震度7 津波無し 東営付近家屋倒壊、大規模火災発生想定での避難訓練 避難先: 多摩川土手及び東京営業所裏手の六郷小学校。所要時間は約35分 消火器使用訓練: ①東京営業所避難誘導訓練手順書の確認②消火器の位置及び使用期限の確認③消火器の使い方</p>		
■評価:	手順書の変更の必要性 □あり ☑なし	
<p>・良かった点 大崎課員は入社して初めての避難訓練となり、実際の避難場所に赴く事で緊急時の避難方法のイメージがついたと思う。今回の避難場所は数年振りに行ったが、改めて現地の様子を確認出来た事は良かった。 消火器の使用期限が切れている事が判明したので対処したい。大崎課員は入社日数がまだ浅く、通勤経路以外の東京営業所近辺は分からなかったが、今回知る事が出来て良かったとも話していた。</p>		
■実施状況の様子	当日の計画経路	東京営業所からすみやかに移動
	緊急避難場所を確認	初期消火訓練

□緊急事態対応訓練 九州工場

緊急事態の想定: 火災消火と津波を想定した避難訓練	
■実施日: 2025年11月24日(月) 9:30~10:30	■実施場所: 九州工場~避難地 二島市民センター
■参加者: 瓜生、和田、清川、横田、田代、坂口、濱田、安部 当日出勤者計8名	
■実施内容: 1.火災発生時の消火訓練 ・消火器の使い方九州工場に設置されている消火器の場所の確認 ・九州工場に設置されている火災報知器の場所の確認 ・災害時の消防署への通報方法 冊子にて確認 ・災害時の避難と行動方法 冊子にて確認 2.災害発生時の避難場所への移動と所要時間確認。	
■特記事項 評価:津波を想定し山側への避難	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
①濱田が課員と新人の安部君へ消火器の使用法の指導と消火方法の説明を行った。 ②避難場所の二島市民センターへの道順を徒歩にて確認した。 新人には重点的に説明をした	
■実施状況の様子 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>消火器の取扱い等説明</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ポリ管をターゲットに消火練習</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>二島市民センターに集合</p>  </div> </div>	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

二酸化炭素の削減目標について、本社では省エネ法への届け出にもとづく管理標準、点検方法見直しと省エネ改善実施で年初のEA21委員会において、目標数値をつくり取り組んでいる 2024年度から目標基準を見直し3事業所進捗管理を開始し継続していく

<p>◇自社を取り巻く環境問題の変化</p> <p>(社会的情勢、利害関係者の要求等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品工場稼働中の231号炉の低濃度PCB変圧器の処理期限が2027年3月31日となっていることを認識しており、その他稼働している潜在的なPCB機器処分が今後の課題となります・利害関係者からの苦情・要請等 2025年度は近隣からの苦情や賞賛はなかった 	<p><見直し・指示></p> <p>◇環境方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針は継続する ・製品工場2-31号炉低濃度PCBのトランスについては2027年3月度の法令処分期限までにはまだあるが以前のにあわせて新しい炉の見積を依頼して更新の検討をしてください ・各部門の年度経営計画に、引き続き環境関連項目とSDGsへの取り組みを付記し策定内容を着実に実施してください
<p>◇環境目標・活動計画の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力による二酸化炭素2%削減は、基準年からすると達成、都市ガスによる二酸化炭素2%削減等の目標も、大型ガス炉の稼働減の要因もあるが達成できた。ただし今後は新しい窒化炉の増設での本格稼働をみてデマンド設定の見直しの検討を続ける。また電気コストについては「省エネ賦課金減免適用」を認定、最終的な基準年総量対比では二酸化炭素削減は達成。 	<p>◇環境経営目標・環境経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルへの取り組みは熱処理業界全体の課題でもあるが、EA21の取組を中心に貢献できると思います 二酸化炭素の削減目標は、生産量の増減や設備の更新等により、達成状況が左右されるが、炉の更新や省エネバーナーの導入は補助金も活用しながらも基本的な空気比、温度制御、炉の密封性を見直し等検討し省エネ改善のさらなる実施で二酸化炭素削減目標新基準年比2%削減を目標としましょう。 ・今回、環境経営目標の基準値を見直しました。
<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境上の問題点等 新窒化炉の増設による操業は近隣、特管法、安全衛生法等で問題がないように注意していく ・省エネ活動の成果からか近年原油換算1500L/年を下回るが生産量にもより上下するので継続して省エネ法にならない監視を続ける ・EA21認証・登録永年継続感謝状授与されました ・省エネ診断をうけ空調の改善を実施予定 	<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州工場は電気デマンド監視装置を設置し電気使用量削減の取組 ・SDGs教育は継続して計画実施してください。 ・引き続き省エネルギーセンターの診断結果における省エネ改善は費用対効果をみて検討してみましよう。 ・前回高圧年次点検時での改善点(ブレーカー地絡継電器)を今年の年次点検時、実施しましょう。 ・実施体制はEA21委員会を中心に率先して活動を行いましよう。
<p>世界情勢からの燃料費増やカーボンニュートラルへの取り組みは変わらず業界全体の大きな課題であり継続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい省エネバーナーの検討も大事だが、炉密封性の向上や空気比などの見直しなど提案できることを模索していくが必要です。 ・おもわぬ潜在的なPCB含有物がないかは広範囲に注意が必要です。 ・車台数増からの軽油やガソリンそして廃棄物量は熱処理炉の断熱材更新や5S活動の推進で増加した。 ・その他は今回の結果をレビューして、2026年度計画で改善していきます。 	

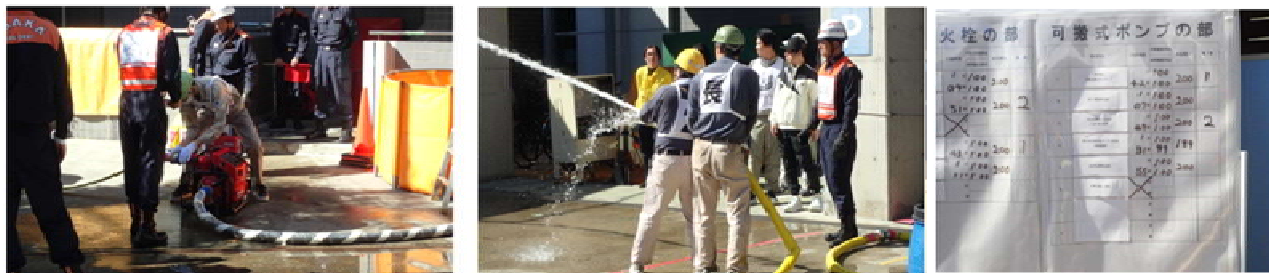
□これまでの環境活動の紹介

■西成消防競技大会 2025年10月27日

消防技術大会 当社は3名で可搬式ポンプの部に参加しました。

5社中、4位と惜しくも入賞は逃しましたが、ミス無く、機敏な動きでしっかりと競技しました。

競技の様子



■第一鋼業エコバックの配布(東京営業所) 2025年12月

Bangladesh産産業を支援する無漂白シュート麻を使ったエコマークCO2排出権タグ付きの製品を取引先に配布



■EA21認証・登録永年継続感謝状授与 2025年08月27日

EA21中央事務局様より賞状拝受いたしました 環境省大臣官房様よりお祝いを頂きました

■もずやんEXPOグリーン募金箱に参加 R8年感謝状授与予定

[【「もずやんEXPOグリーン募金箱～CO₂削減量をあつめて万博のカーボンニュートラルに貢献～IHP】](#)

[【大阪府HP寄付実績】](#)